

会議名 (審議会等名)		川西市産業ビジョン推進委員会(第2回)		
事務局 (担当課)		産業振興室 (商工農林・観光担当)		
開催日時 開催場所		平成18年12月14日 市役所4階 庁議室		
出席者	委員	佐々木 川口 四谷 東 坂本 村尾 林		
	その他	商工会事務局長 松本氏(オブザーバー)		
	事務局	吉田 大南 柳川 福美		
傍聴の可否		可	傍聴者数	5人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		<ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・議題(1)川西市の地域特性の報告(コンサルタント) <li style="padding-left: 2em;">(2)川西市における課題の報告(事務局) <li style="padding-left: 2em;">(3)川西市において必要となるコミュニティ力についての検討 <li style="padding-left: 2em;">(4)その他(今後のスケジュール等) 		
会議結果				

コンサルタント	(1) 川西市の特性の報告 資料：「川西市産業をとりまく現状の整理」についての説明
委員長	どうもありがとうございました。商業、農業、工業等の川西市の産業や市民生活に関わる部分に関して、ビジョン策定後のデータを押さえていただきました。 この産業ビジョンの柱である、朝市、SOHO事業、コミュニティビジネスについて、深く関わってくる様なデータの推移を見ることができました。 今の説明について、ご質問やご意見などありましたらお願い致します。
委員	報告内の市民意識の推移について、市民実感調査はどのような方を対象に行われたものなのでしょうか。
コンサルタント	総合計画のための意識調査ということで、全市民を対象に無作為抽出で実施されております。但し、回答者数は1000人にも満たないということですので、規模としては小さく、あくまでも参考値ということになると考えております。
委員長	今回出していただいたデータは、これからの議論に色々関わってくると思います。まず、川西市におきましては、人口は順調に伸びておりますが、このなかで高齢化が進んでおります。2000年の段階では高齢化率は16%台でしたが、2005年には21.0%に到達しております。そしてこれからは20%台で高齢化率が推移していくこととなります。そして、この中で、川西市の所得水準というのが周辺市町と比べて比較的高い位置にあるということは間違いありませんが、やや市民の所得水準が下がる傾向に入ってきたことがわかります。 また、産業全体といたしましては、商工農では事業所数なり総生産レベルの全てで数値が低下が見られます。 産業構造全体の中では、特にサービス業の伸長が見られていますが、製造業や卸小売業など従来的な産業の停滞や衰退がますます進んでいるというマクロ的な結果が出ております。 農業分野では、非常に目立った特長が浮かび上がっております。販売農家数が際立って落ち込んでおり、2000年と2005年のデータには20ポイント程度の開きがあります。

委員長	<p>それに代わって、非常に規模の小さな自給的農家の比率が相対的に上がっております。朝市という観点から見ますと、あるいはこれから実社会というものをリタイアされて、こういった分野に進出される人を想定しますとそのような動きを踏まえた事業の展開などに繋がってくるのではないかと思います。</p> <p>それでは、それらの現状を踏まえまして、川西市における課題についての報告をお願い致します。</p>
事務局	(2) 「川西市における課題等の整理」について説明
委員長	ありがとうございました。ただ今、課題等についてのご説明をいただきましたが、何かご質問やご意見などはございませんでしょうか。
委員	<p>よろしいでしょうか。今回初めて出席をさせていただきましたが、川西市における産業ビジョンとすることで私の捉えまえ方としては、川西市全域とっておりましたが、どうも話を聞いていると、川西能勢口駅を中心とした中央地区だけのような話の内容かと思われまして、川西市はツツノオトシゴのような形で、商工会といたしましては、三極化として、山下地区、多田地区そして市役所から南部の中央地区で事業推進を図っておりましたので、なかなか統一した事業やイベントなどは出来ておりませんでした。よって、地域毎に取り組んでいただくということで、今まで推進事業を図って来た訳ですがそこで、今言いましたように、この委員会においては、中央地区だけのことを考えて発言すればいいのか、その辺を整理しておかないといけないと考えておりますが。</p>
事務局	市全体の産業ビジョンですので、全体として考えていただきたいと思っております。そのような中で、中心市街地活性化事業としまして、まちづくり部の方で検討しており、それと市全体の産業ビジョンが重複するところもございりますが、調整を図りながら進めてまいりたいと思っております。

委員	<p>それともう一点ですが、委員名簿を見ると、農業や商業の方がほとんどではないでしょうか。工業の方からはどなたも出ていないような気がしますが、産業ビジョンには工業の方は必要ではないのでしょうか。疑問だけで申し訳ありませんが。</p>
事務局	<p>委員のご指摘の通り、工業分野の方がいらっしゃいませんが、川西商工会という立場で全体的に包括をさせていただき、工業の面についてもご意見をいただければと思っております。</p>
委員	<p>商工会には工業関係と商業関係として、副会長が2人おります。商業だけでいいのかという疑念があった訳です。</p> <p>川西市全体を見ていくということですが、コミュニティビジネスとしましては、商工会では兵庫県の指導を受けまして、地域通貨というのを4年くらい前から大和商店会と大和自治会が共同でやっております。で、コミュニティビジネスと言いますが、我々商業者にとっては、コミュニティとのふれあいというのはビジネスにはなりません。ほとんどが、今まで奉仕です。と、言いますのは、商店会活動の中で、私たちは何十年とやってきたわけですが、その中で子ども会を育て、老人会を応援し、地域の福祉や交通安全や生活環境などについては、商店街があったからこそ、貢献できたのではないかという自負がございます。ただ、今はその商店街というのが大型店に客を奪われまして、減少の一途をたどっております。</p> <p>私がございます中央商店会も市道の拡幅に伴って、きれいに商店街がなくなりました。その後をどうするのかということも、ここで言っても仕方ないのですが、計画についても、その後のフォローをしっかりと検討するべきであると思っております。</p> <p>コミュニティビジネスを本当にビジネスとして取り上げていくのか、それともボランティアとして取り上げていくのかということも大事だと思います。</p> <p>あと、もう一点、意見書を出しておりませんので言わせていただくと、農業の方々が朝市ということで、場所を変えて取り組まれているということですが、そうではなくて、猪名川町の道の駅のようなものを、市の施策の中で提供していくことが、これからの農業の発展にも繋がっていくのではないかと思います。</p>

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

	<p>猪名川町の道の駅を見に行くと、ほとんど毎日生産者の方が、色んなものを持ち寄って販売し、地域を盛り上げているということを実感致します。その辺も川西市として考えていかななくてはならないのではと思います。</p> <p>初めてですので、色々と質問や意見などを投げかけさせていただきました。</p> <p>核心をついたご意見をありがとうございます。</p> <p>今、委員から朝市事業について、より発展的な形でご意見をいただきました。ようやく朝市事業がスタートし継続性が見えるようになってきました。恐らく、その辺りが次のステップにあると思います。</p> <p>朝市の直売所につきましては、多田の方にオープン致しました。また、久代では南部直売所がオープンしております。今年の予算的には、黒川の方に1軒直売所をオープンしようとしておりましたが、黒川地域は市街地調整区域ということ、現在調整が遅れておりましたので、今年度のオープンはなかなか難しい状態となっております。来年度に向けて継続的に取り組んでいこうと思っております。</p> <p>道の駅については、この間の市議会においても「川西市にはないじゃないか」というご意見もございまして、直売所の状況を見ていきながら今後検討していくということで答弁させていただいておりますので、よろしくお願い致します。</p> <p>(3) 川西市において必要となるコミュニティビジネスについての検討</p>
委員長	<p>先程の委員からのご指摘にもありましたように、コミュニティビジネスの位置付けについてですが、一言で答えるならば、ボランティアとビジネスの間を目指していくということになると思います。</p> <p>全くのボランティアでもなく、しかしながら営利目的だけでもないということですが、それを先程データで見ていただきました、産業全体は衰退していく中で、人口は順調に伸びているという特性を持つ川西市が、こういった産業分野を追求していけるかということと、大型誘致による産業発展ではなく、そういったコミュニティビジネスに見出すべきではないかという議論をこれまででもしておりまして、この推進委員会でもそのような方向で</p>

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

委員	<p>検討を進めてきております。</p> <p>ただ、そうは言いましても、儲けず、または儲からずの中間を進めていくというのも、なかなか様々なハードルが現実としてございます。で、委員のみなさまにコミュニティビジネスに関するアンケートをさせていただきました。川西市において、どういうイメージのコミュニティビジネスを進めていくべきかを、委員各自のお立場やお考えに基づいてまとめてきていただきました。それらのご意見を踏まえ、次回に向けて仕組みづくりというところに持って参りたいと思っております。</p> <p>仕組みづくりに向けまして、本日残りの時間で、委員の方々に提出いただいたコミュニティビジネスのイメージ像につきまして、お一人ずつご発言いただければと思います。</p> <p>まずは、委員からご発言をお願い致します。</p>
委員	<p>うちの場合は、くしろ夢舞台で地域のみなさまのための取り組みを展開しております。8年間は投資です。もらった補助金はそちらに使っております。年に1回イベントをやったりと、色々な取り組みをしております。いくら良い事を言っても、人と人との繋がりが重要なのです。</p> <p>私もは、他市町村のイベントによく行きますが、どこのイベントも色々な団体が一緒に力を合わせてやっています。そういう基本をつくっていかなくてははいけません。横の連携が必要なのです。</p> <p>すぐではなく、今からつくっていかなくてはいけないのです。そうしないと、ただの絵に描いた餅になってしまいます。</p> <p>例えば、道の駅です。加美町はたった8000人しか人口はないのですが、考え方というか基本が違います。そういうことを研究してやっていかなくてはなりません。初めは5～6点しか商品がなかったのですが、全町あげての取り組みをやっていきます。猪名川町でも実験的なことも含めて色々な取り組みをやっていきます。そういうことを含めて、横のつながりは大事です。</p> <p>もう少し、「まちをどうしたいか」ということを基本に持っていけば、年に2、3回集まるのではなく、現場に降りて行ってやっていかなくては、発展していかないのではなかという想いはあります。</p>

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

	<p>それと、夢かもしれませんが、例えばプロサッカーチームなどを創設することで、市全体が盛り上がるような企画をやるとか。うちの商店街では、500人くらいが参加しまして、年に数回パークゴルフのイベントをやっています。その中で、商業的なものが盛り上がってくるように、将来的にはもって行きたいと思っております。でない、なかなかうまくいかないです。</p> <p>あと、先日県の方にうかがいましたが、予算は商店街やコミュニティに色々出してくれますが、一年毎になってしまいます。そういうものではなくて、良い企画には3年くらい続けて支援をしてくれるようなものではないと、すぐに効果はできません。その辺の仕組みが、言っていることとやっていることが全然違うように思います。</p> <p>これを踏まえて、何に取り組んでいくかを検討していきたいと考えております。以上です。</p>
委員	<p>あまり深く考えて、必要だと思っっているということではないのですが、私も川西市内におきまして、20年ほど飲食サービス業をさせていただいておりますが、高齢化しているなかで、高齢者の方も若者と一緒に動きたいという気持ちはあるのですが、動けないという現状があります。実際に高齢者の方の足となって、タクシー代わりでNPOなどが取り組んでいるということは聞きますが、コミュニティとしビジネス化はされていないと感じます。また、社員従業員などを見ましても、少子化という状況でも、子どもがなかなか生めない状態にあります。仕事をしていて、子どもが病気になっても保育所でみてもらえないという現状がございます。そう言ったときに、現在は核家族化になり、具合が悪い子どもの面倒をみる人がいないということです。例えば、ご近所の高齢の方が具合が悪い子どもさんの面倒を見るなど、昔から当たり前に行われてきたことを制度化するとか、そのような取り組みに行政としてのバックアップがあれば、市民生活も豊かになるのではないかという発想から、意見を書かせていただきました。</p> <p>あと、委員個人として希望するコミュニティビジネスについては、特にございません。</p>
委員	<p>コミュニティビジネスの概念という資料のP3に、コミュニティビジネスの領域が記載されておりますが、全て大切であると考えておりますので、川西市において特にこれが必要であるということはありません。</p>

	<p>私個人として希望するコミュニティビジネスについては、障害者の雇用の創出ということで、障害者とその保護者と一緒にひとつの場所に集まって、商品づくりをする、そして、その商品をフリーマーケットなどで販売するという取り組みを挙げました。また、地域産業の活性化ということで、地域の特産物の掘りおこしとオリジナル商品を作ることなどがあります。川西市としては、いちじくなどについての商品を開発したり、地産地消を促進していけたらいいかと思えます。</p>
委員	<p>私は、池田市で仕事をしておりまして、仕事場などで「川西や池田で何がほしい、何が足りない」ということ話しましたら、「おいしいパン屋がない」という意見多く出ました。これがコミュニティビジネスにどのよに繋がるかはわかりませんが、意見として出ささせていただきました。また、地産地消を進めるのであれば、地ものを使ったレストランや惣菜屋さんがあればいいという話にも発展しましたので、書かせていただきました。</p> <p>あと、一番私は思うのは、市民の方々が集まって使うとができる調理施設が川西市には本当に少ないということです。西宮市や宝塚市にはいっぱいありますが、川西市には本当にそのような施設がありません。そのような施設をつくっていただいたら、食育など色々な取り組みに使えるのではないかと思います。</p> <p>また、個人的な意見としましては、韓国への旅行から帰ってきたばかりですので、川西のジャスコが「しーん」としてしまっているのを、上の階を使って、韓国のスーパー銭湯のようなものをつくればいいのでは、と感じています。韓国のスーパー銭湯では、温かいオンドルの上でみなさんが寝転がって将棋などをして、お年寄りがたくさん集まって話をされているのを見ました。川西市も、もう少し、お年寄りが家から出て来られるようなものをつくればいいのではと思いました。</p>
委員	<p>高齢者の方が多くなっている中、高齢者の方とお話をする機会がありましたが、短時間でも話ができるような場所が欲しいという声がありました。4～5人の方が集まってお話しができるような場所が欲しいということです。</p>

委員長

あと、やはり、お子さんがおられる方で、働きに出ての方が、短時間だけでもお子さんを預けることができる場所など、ボランティアでの取り組みであって、ビジネスにつながるかは問題があるかとは思いますが、何か取り組みができればいいのではと思っております。

また、高齢者の方であっても、色々な特技をお持ちの方もおられますので、そのような特技が活用できるような場があればとも思います。ただ、これもビジネスからは離れているかもしれませんが、市の方で何かそのような場を提供していただけたら、と思います。

ただ今、各委員からご意見をいただきました。この各委員へのアンケートの目的は、決して各委員から出た意見を絞り込んで、それをこの委員会で提言していこうというものではありません。コミュニティビジネスと言うのは、非常に考えておられる方によってイメージが違ってくると思います。受け止め方や、何を念頭に置くのかということによって変わって参ります。

今後は、少しずつ、ある程度同じイメージに立って議論を進めていく必要があります。

で、かなり今更ながらということもありますが、委員は初めてのご参加ということですので、若干この推進委員会について補足説明をさせていただきます。

産業ビジョンが平成15年3月にできまして、同年の4月から、実際にこの産業ビジョンを推進していこうという目的をもって、本委員会が発足いたしました。で、当初この委員会は、とにかく産業ビジョンに書かれた事業を進めていこうというスタンスに立ちました。何を進めていくかについては、調整いたしまして、SOHOに関してインキュベーション施設の設置と、朝市事業、そしてコミュニティビジネスの3つを立てました。それぞれは、共通の土台を持っておりました。川西市はサービス業などが多い居住都市であり、産業城下町でもなく産業集積地でもないということで、その中でどのような産業を目指していけるのかを検討し、内発的な立場に立ったこの3つの事業を打ち立てました

朝市事業は、JAさんが中心になってくださりまして、かなり軌道に乗りつつあります。但し今後の課題と致しましては、最終的にはコミュニティビジネスとインキュベーション施設、朝市事業の3つがまとまることです。先程の報告の最後に川西市におけるNPOの増加状況のデータも出していただきましたが、このNPO組織なども絡めながら朝市事業を進める、つまり当該業者だけの事業展開

に終わるのではなく、全体的に主体者が増えていくことを狙っています。そのためには、コミュニティビジネスを育てていく、そしてSOHO事業も含めてインキュベーション施設を立ち上げていくことを狙っております。

朝市事業は、先程も申しましたように今進んでおりますが、SOHO、インキュベーション施設は、中心市街地活性化法の法律改正と、市の予算の大きな問題で、現段階ではペンディングとまでは行きませんが、少し止まっているという状態です。で、恐らく年が明けてこちらの方の会議も動き出すと思いますが、予算措置等の動きや新しい法律への対応も含めて、インキュベーション施設についても何らかの取り組みがなされると思いますと言った状況で、如何せんコミュニティビジネスだけが何を想定して、どこが主体となって、どういう補助が出て、どのように進めていくのかということが、全くわからない状況の中です。

コミュニティビジネスについて、1年目の段階で取り組んでいただいた委員さんもそのような点で非常に苦慮されまして、プロジェクトチームをつくってコミュニティビジネスの立ち上げに取り組んでいただきましたが、そのプロジェクトチームに関わった方の中でも意見の統一がなかなか見られないという現状でございました。

で、コミュニティビジネスに関しましては、あせらずゆっくりと我々委員も含めて市民の意識の醸成を進めながら徐々に着手していきたいと考えております。

まず、その第1弾と致しまして、委員の方々などの意見を出していただいて、この当たりを整理しながら、今後は川西市にふさわしいコミュニティビジネスのモデルを、この委員会で提示していきたいと思っております。そして、この委員会でコミュニティビジネスをつくっていくというわけにはいきませんので、例えば啓発事業であるとか、市民に対する働きかけなどについて、私個人としましては、この委員会でその部分もまとめあげていきたいと思っております。で、次回最終的にまとめるということになると思います。少しまた、この委員会以外のところでも水面下で調整させていただいて、ある程度のモデル像の提示と、市に対する若干の提言・意見を今年度の推進委員会として取りまとめたいと思います。

コミュニティビジネスについては、なかなか難しい話ですが、できるだけ他市の事例なども用いまして、調整していきたいと考えています。

何かご意見などありましたら、よろしくお願い致します

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

審 議 経 過

No. 10

事務局	欠席委員のアンケート回答（意見）について説明（当日配布資料の説明）
委員	<p>川西市の特産物としては、川西の商工会ではイチジク茶に取り組んでおりますので、その辺も大いにPRしていかなくてはならないと思います。イチジクに関しましては、菓子組合もケーキなど色々な取り組みを行っておりますので、それについてもPRが必要だと思います。</p> <p>先程、座長からも話がありましたように、コミュニティビジネスとして何をどのように取り組んでいくのかについては、大和での地域通貨の取り組みを進めていますが、結局商店街としてはタダ働きであるという話も出てきています。それはそれとして、「地域に貢献できるのなら」ということで、現在は取り組んでおります。コミュニティビジネスとして地域通貨でどのような対応をしているかについては、担当者が説明をすることも可能です。「ビジネスだが、金儲けにはならない」だから「どうするのか」ということに尽きるのではないかと思います。イベントについては、一庫マラソンや多田の源氏まつりなどがありますが、池田市ですと池田まつり、宝塚市にも祭がありますが、そう言ったものが川西市にはないのです。その辺についても、既存のイベントやこれから考えるイベントを捉えて、どのようにコミュニティビジネスに活用していけるかを、検討していくべきではないかと思います。それによって、山下、多田、中央地区が一体となって、何かができるのではないかと思います</p>
委員長	ありがとうございます。地域通貨に関しましては、また改めまして機会を設けたいと思います。その折にはよろしくお願い致します。
委員	川西市南部直売所のイベント等について報告をします 4～11月でイベントを4回実施。
委員長	6月 トマトフェア 参加者100名 7月 トマトフェア2 参加者50名（エコバックを進呈し、盛況） 8月：イチジクフェア 参加者150名 9月：イチジクフェア2 参加者70名

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。

	<p>現状としては、野菜の値が暴落しており、スーパーなどでも安く野菜を購入できるようになり、直売所の来客がなくなっている。</p>
委員長	<p>ただ今、朝市等の状況について報告していただきました。どうもありがとうございます。</p>
	<p>3. その他（今後のスケジュールなど）</p>
事務局	<p>次回の委員会については、来年2月くらいと考えております。再度調整させていただき、ご案内をさせていただきます。よろしくお願い致します。</p>
委員長	<p>それでは、第2回推進委員会を閉会させていただきます。委員におかれましては、なかなか産業ビジョン推進委員会については忸怩たる思いがあるかと思いますが、最終的には何か委員会でまとめて、意見の具申ができればと思っております。</p> <p>今後とも、よろしくお願い致します。本日はありがとうございました。</p>

主な発言の要旨等、審議経過がわかるように記載すること。